

2025年度 解答速報

筑紫女学園中学校入試【理科】

2025年 1月13日実施

理 科

1 (1) B→A→C (2) ウ (3) ① 右図 ② イ

2 (1) ウ (2) イ (3) 51 (秒)

(4) ① あ ② a ③ c ④ ウ

3 (1) 右図 (2) 4.5 (cm) (3) 15 (g) (4) ア

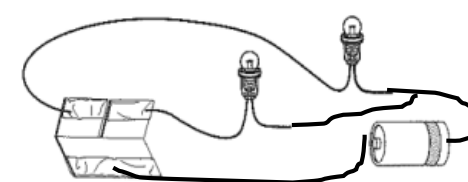
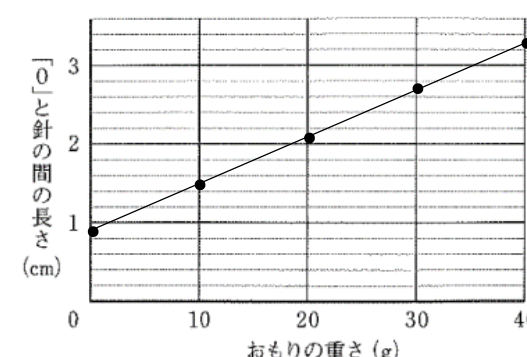
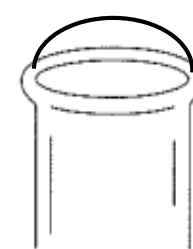
4 (1) エ (2) ウ (3) イ (4) イ (5) ①増える (同意可) ② 増える (同意可)

5 (1) 線状降水帯 (2) エ (3) 海水面が上昇する (4) こまめに電気を消す (同意可)

6 (1) 右図 (例) (2) イ (3) 使用する電気の量を減らせるから (同意可)

7 (1) 二酸化炭素 (2) オ (3) 二酸化炭素を通す (同意可) (4) ア
(5) 0.4 (倍) (6) 水酸化ナトリウム水溶液Z (を) 6 (cm³加えればよい。)

8 (1) ① B ② イ・ウ ③ 12 (時) 25 (分ごろ) (2) エ
(3) 21 (時ごろ)



【講評】

例年通り、大問8題構成で各分野から均等に出題されている。基本的な内容が多数出題された。

1 化学、状態変化の問題。水の状態変化を問う基本的なレベルの出題。

2 生物、人体の問題。心臓を中心とした血液の循環の問題で、各器官のはたらきを詳細に問う問題。

3 物理、ばねの問題。ばね自体に重さがある問題は珍しい。戸惑った生徒も多かったと思われる。

4 生物、生命の誕生の問題。ヒトの受精卵から出産までに関する基本的な出題であった。

5 地学、環境問題。最近よく目にする線状降水帯と地球温暖化に関する出題。自分の考えを答えさせる問題があった。

6 物理、電気回路の問題。電気回路を実線で結ぶ作図問題が出題されたが基本的な内容であった。

7 化学、水溶液の問題。水溶液の分類は基本的な内容だったが、中和に関する問題の(5)は難易度が高い。正解した受験生は少なかったと思われる。

8 地学の天体、太陽の日周運動に関する出題。最後に世界地図が出て一見難しそうに見えるが、基本的な内容であった。南中時刻の計算問題も正解したいレベルである。